

「母校創立150周年記念募金」のご報告と御礼



同窓会理事長 入江 泉

同窓生の皆様にはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素から同窓会の活動にご理解、ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

令和7年度の会報ができあがりましたのでお届けします。今回お届けする会報には明治期の母校の運動会の具体が特集されています。母校の教育において運動会の持つ意味や行われていた種目、提灯行列等々興味は尽きません。この特集記事から運動会及び母校の歴史を振り返り、同窓生やご家族の方々と話し合う機会が増えれば幸いです。

さて、昨年令和6年度は母校創立150年、朝日高校となってから75年という大きな節目の年でした。同窓会としては「150年の歴史を振り返る」と「岡山の文化に貢献する」の二点を基本方針とし、記念行事に取り組んでまいりました。

岡山城・鳥城や藩校跡地に岡中・一中および二女の校舎があったことの説明版を設置するなど、母校の歴史を後世に残すことができました。現校地にも同窓生にとって懐かしい場所（柔道場など）に歴史説明版を設置しております。

また、文化講演会等開催のための「150周年文化基金」が設立できました。第一回の行事として、ノーベル物理学賞受賞者である梶田隆章先生を講師として迎え、令和8年5月28日に講演会を行う準備を進めております。

創立150周年の記念行事実施に向け、会報等で寄附（目標金額1500万円）をお願いいたしましたところ、おかげをもちまして別冊に記述してありますように目標額に達することができました。同窓生の皆様の母校に対する熱い思いを感じたところであります。本当にありがとうございました。

母校ゆかりの場所への歴史説明板設置

朝日高校内（令和6年7月設置）

昨年の会報でも紹介しましたが、「登録有形文化財」を紹介するものと「朝日高校と六高の歴史」を紹介するもの合計11枚の説明板が校内に設置されています。「校内散策マップ」をご覧ください。



岡山城本丸中の段（表書院跡）除幕式

令和6年9月末に完成し、10月5日にお披露目され、当日の午後2時から岡山城本丸で除幕式が行われました。どちらも、「岡山の文化に貢献する」という今回の記念事業の趣旨に鑑み、説明板の文言も、母校を強くアピールするものではなく、母校が存在したことをこの地の歴史の一つとして刻み込むものとなっています。

除幕式では、入江同窓会理事長、鈴鹿校長、篠原PTA会長、出原生徒会長の挨拶に続き、管弦楽団3名によるファンファーレが響く中、理事長・校長・PTA会長・生徒会長・



卒業生代表（S30年卒津崎淳夫氏、S31年卒黒住宗晴氏）の6名によって除幕されました。引き続き、津崎淳夫氏が卒業生代表挨拶と、この説明板の完成を待ち望



まれていた中山善弘元音楽教諭（S22年卒）のメッセージを代読されました（この場所は車椅子が上げられないため、中山先生は出席を断念）。

中山先生メッセージ抜粋

明治、大正、昭和と三代にわたり、多くの有能な人材が、この地に学び、国家、社会、いや全世界に多大な功績を残されました。その先輩方を偲ぶ時、同窓生の一人としてこの地に朝日高があったという記録を後世に残す意義は、甚大なものと痛感するものであります。後輩の諸君には、この伝統ある校風をひきつぎ、日々精進されることを願ってやみません。

式典の締めくくりは、参加者全員による岡山一中と岡山朝日高校の校歌斉唱。最後に説明板を囲んで全員で記念撮影をおこないました。

※卒業生代表挨拶をされた津崎淳夫氏は令和7年6月逝去されました。ご冥福をお祈りします。

